

農業農村整備事業等環境情報協議会

平成30年度 第1回根室振興局農業農村整備事業等環境情報協議会

● 開催日 平成30年9月26日(水) 午前9時30分から午後17時00分

● 場所 現地調査(別海町・標津町)

意見交換等(別海町役場「301号会議室」)

● 出席委員

○環境の専門家 宗岡 寿美 外山 雅大

○地域住民の代表 高山 今朝男 成田 暁美

○農業関係 藤倉 紀夫

● 参加者 根室振興局、別海町、標津町、JA中春別、JA標津

1. 現地調査

地区位置図 ※希少生物保護のため概ねの範囲で表示しています。

1) 草地畜産基盤整備事業(道営草地整備事業) 川北地区(標津町).....位置図番号_①

2) 通作条件整備(一般農道整備[一般型]) 上風連北地区(別海町).....位置図番号_②

3) 農地耕作条件改善事業 大成53線地区(別海町).....位置図番号_③

4) 農地耕作条件改善事業 大成55線地区(別海町).....位置図番号_④

5) 畜産基盤整備事業(畜産担い手総合整備事業) 新酪中春別地区(別海町)....位置図番号_⑤



～ 現地調査状況(川北地区にて) ～



～ 現地調査状況(上風連北地区にて) ～

2. 意見交換と情報収集

1) 計画策定地区の説明

01. 草地畜産基盤整備事業(道営草地整備事業) 川北地区

予定工期:平成31～35年度

主要工事:草地整備改良 A=349.0ha、草地造成改良 A=4.8ha

当該地区における環境配慮の考え方等

02. 通作条件整備(一般農道整備[一般型]) 上風連北地区
 予定工期:平成31~35年度
 主要工事:道路工(改良・アスファルト舗装) L=2, 196m
 当該地区における環境配慮の考え方等
03. 農地耕作条件改善事業 大成53線地区
 予定工期:平成31~33年度
 主要工事:道路工(改良・アスファルト舗装) L=932m
 当該地区における環境配慮の考え方等
04. 農地耕作条件改善事業 大成55線地区
 予定工期:平成30~32年度
 主要工事:道路工(改良・アスファルト舗装) L=630m
 当該地区における環境配慮の考え方等
05. 草地畜産基盤整備事業(畜産担い手総合整備事業) 新酪中春別地区
 予定工期:平成31~34年度
 主要工事:草地整備改良 A=809.0ha、草地造成改良 A=3.2ha、飼料調製貯蔵施設 2基
 家畜排せつ物処理施設1棟
 当該地区における環境配慮の考え方等



～ 意見交換及び情報収集(別海町役場にて) ～

2) 委員からの主な意見等

[01 草地畜産基盤整備事業(道営草地整備事業) 川北地区]

- ・ 排根線を除去する工事では、肥沃になった土壌を農地へ還元するため、表層土の物理的改善ということからも良いのではないかと。
- ・ 道路・河川等の、のり面を植生するときに導入する草種について、問題無いか検討の対象としていただきたい。

[02 通作条件整備(一般農道整備[一般型]) 上風連北地区]

- ・ 横断管の径について、最近の降雨の降り方・現地の経年変化等を考慮したうえで、通水断面が確保できるよう、再度検討して欲しい。

- ・冬期の吹雪を考えたときに舗装道である方が流通、輸送等に有効であるため進めていただきたい。
- ・伐採対象となっている樹木は二次林であって、希少な樹種とは違う物なので必要最小限の範囲で伐採するには問題無いと思われる。

[03, 04 農地耕作条件改善事業 大成53線地区 大成55線地区]

- ・タンチョウが、草地に営巣等含め生息している状況が起きているので、周辺にそのようなことが見られた場合は事前に有識者と打合せを行い、指示等を確認していただきたい。
- ・待避場の長さの設計で、ミルクローリー車等の大型車両に対して問題ないかどうか、再検討が必要。

[05 草地畜産基盤整備事業(畜産担い手総合整備事業) 新酪中春別地区]

- ・工事実施後は区画の形状通り、草を刈ることによってほ場形状が守られ長期間にわたり維持ができると思われるので、維持管理に配慮していただきたい。
- ・タンチョウが、草地に営巣等含め生息している状況が起きているので、周辺にそのようなことが見られた場合は事前に有識者と打合せを行い、指示等を確認していただきたい。

3. 全体を通しての意見

- ・地元農家とのヒアリング等を行い、専門家と協議を行いながら代替地の提案等含め、地元農家と事業の実施・中止等について調整を行いながら、事業を進めて行くことが出来たのは、自然環境にとって大きなことなので、今後も継続して進めていただきたい。
- ・タンチョウが農村・牧草地などの近くの草地で繁殖・営巣し、牛のえさ場等で採食している状況が見られるため、事前に有識者と打合せを行いながら、進めていただきたい。
- ・農業農村整備事業（農業土木）がどのように事業を行っているかについて、アウトリーチ活動等により、広く一般の方々に理解を得ていく活動が今後重要。

4. 平成30年度 第1回根室振興局農業農村整備事業等環境情報協議会_議事録・・・別紙